

本章

第二部 大学院工学研究科

第1章 大学院研究科の理念・目的・教育目標

A群：大学院研究科の理念・目的・教育目標 とそれに伴う人材養成等の目的の適切性
--

B群：大学院研究科の理念・目的とそれに伴う 人材養成等の目的の達成状況
--

金沢工業大学は、昭和53年に日本海沿岸地域における工科系私立大学として最初の大学院を設置した。この大学院の設置は科学技術の著しい発展と情報化社会の複雑高度化に伴う新時代の要請および北陸産業界の強い要望に応えるため、学部教育をさらに深化、高揚し、本学の使命を達成しようとするものである。

本学大学院の使命は、学園の建学の精神に基づき、日本人としての確固たる精神を矜持し、国際社会に寄与し得る人材、次代の技術革新を担い得る人材、そして人類の豊かな発展を継承し得る人材の育成と産学一体の学術研究を目指すものである。さらに、高度技術化社会における「モノ」や「システム」を創造する上で必要となる、自ら課題を探索するとともに問題を発見し、総合的に解決できる能力を身に付け、次世代の科学技術を先導し、新たな「創造の表現」を継続できる能力を学生が修得することを目的としている。

昭和53年に機械工学、土木工学、情報工学の3専攻の修士課程を設置し、昭和55年にはこれら3専攻に博士課程を設置するとともに、建築学と電気電子工学の2専攻の修士課程を設置した。その後、昭和57年に電気電子工学専攻の博士課程と経営工学専攻の修士課程、平成2年にシステム設計工学専攻と材料設計工学専攻の博士課程、平成15年に建築学専攻の博士課程を設置し、現在は、機械工学、環境土木工学、情報工学、電気電子工学、システム設計工学、材料設計工学、建築学の7専攻において博士課程（前期・後期課程）を、経営工学専攻において修士課程を設置するに至っている。

なお、大学院を修了した学生の進路は、その4割が上場企業、2割が大手企業、3割が優良企業に就職しており、新しい時代を担う研究者や技術者として活躍している。

今後は国際社会に寄与し得る有能な人材のさらなる輩出に注力するとともに、北陸に拠点を置く工学系大学院をもつ私立大学の使命として、北陸の産業界の発展を推進し、地域産業の活性化と新規産業の創出を担う人材の育成とそれに関わる附置研究所の設置を行っていく計画である。